

# 上村明廣教授主要著作目録

## I 主要論文

岡山大学法経学会雑誌二九号  
既判力の客観的範囲に関する一問題

一九五五年

独逸民法〔II〕債務法（補遺）

一九六一年

現代外国法典叢書（有斐閣）

判決瑕疵論に関する一覚書

岡山大学創立一〇周年記念論文集（上）

一九五六六年

労働関係における經營危險問題の一考察（1）

神戸法学雑誌五巻四号

当事者適格に関する一考察

岡山大学法経学会雑誌四一號

一九五七年  
労働関係における經營危險問題の一考察（2）

神戸法学雑誌六巻四号

訴訟に関する合意

『契約法体系VI』（有斐閣）

西独における政治スト論争について 六甲台論集四巻一號

最近のドイツにおける訴訟物理論の展開

神戸法学雑誌七巻二号

確定判決の反射効と既判力拡張

中村宗雄先生古稀祝賀記念論集

一九五九年

民事訴訟における訴訟行為概念について

形成対象の繰返しと既判力

民商法雑誌五五巻一〇号

判決の瑕疵

小山・中野・松浦・竹下編

判決の形成力の主觀的範囲に関する一考察

『演習民事訴訟法』(上) (青林書院新社)

岡山大学法経学会雑誌一六巻四号

主觀的予備的併合

一九六八年

給付訴訟の訴訟物

岡山大学法経学会雑誌一八巻二号

『演習民事訴訟法』(下) (青林書院新社)

積極的損害の認定範囲

斎藤・伊東編 『演習破産法』 (青林書院新社)

再審訴訟の訴訟物構成に関する一問題題

一九七四年

神戸法学雑誌一九巻一・二合併号

小室編 『セミナー法学全集』 (日本評論社)

既判力の客觀的範囲

確定判決の不当取得・既判力

中野・松浦編 『ワーグブック民事訴訟法』 (有斐閣)

一九七五年

訴訟物論争の回顧と展望

岡山大学法経学会雑誌一一巻二号

判決効の拡張をめぐる利益考量

第一期法学教室 (有斐閣)

民事訴訟法一三八条、一三九条、一四〇条、一四一条

小室・賀集編 『基本法コンメンタール』 (日本評論社)

訴訟係属・二重起訴の禁止・訴え提起の私法上の効果  
・参加的効力

一九七三年

弁論主義 小室編 『判例演習講座』 (世界思想社)

一九七六年

斎藤・小室編 『民事訴訟法の基礎』 (青林書院新社)

## 訴訟上の請求

中野・松浦・鈴木編『民事訴訟法講義』（有斐閣）

不作為請求制度に関する一考察

第一審の訴訟手続、第一章訴、民事訴訟法二二三条、

山木戸克巳教授還暦記念『実体法と手続法の交錯』

## 一二四条

村松・小山・中野・倉田・賀集編

『判例コンメンタール民事訴訟法II』（三省堂）

アクリチオ法的思考と訴訟物

岡山大学法経学会雑誌二五卷三・四号

直接強制・代替執行・間接強制

奥田・玉田・米倉・中井・川井・西原・

有地編『民法学(4)』（有斐閣）

## 一九七七年

請求の趣旨と原因

竹下・谷口編『民事訴訟法を学ぶ』（有斐閣）

仮処分の抵触・保全訴訟の裁判と既判力

宮崎・中野編『仮差押・仮処分の基礎』（青林書院新社）

一部請求

鈴木・白川編『ケーススタディ民訴法II』（法学書院）

## 一九七八年

不作為請求権に関する一問題

末川先生追悼論集『法と権利(3)』（有斐閣）

争点効

（下）（有斐閣）

一九七九年

鈴木・白川編『ケーススタディ民訴法III』（法学書院）

民事訴訟における法人格否認

鈴木・白川編『ケーススタディ民訴法III』（法学書院）

民事訴訟における法人格否認

ロースクール（立花書房）

訴訟物論争の現状と展望

ジェリスト・民事訴訟法の争点（有斐閣）

差止請求訴訟の訴訟物に関する一試論

岡山大学法学会雑誌一八卷三・四号

労働者の給料債権・退職金債権

宮脇・竹下編『破産・和議法の基礎』（青林書院新社）

民事訴訟の目的・訴権の要件・訴訟物の特定・訴訟物の譲渡・請求原因・処分権主義など

飯倉・上田・上村・渡辺他著

『基本マスター民事訴訟法』（法学書院）

間接強制

谷口知平・加藤一郎編『新版・民事演習3』(有斐閣)

『手続法の理論と実践』(下巻) (法律文化社)

一九八〇年

一部請求、上訴

別冊法学セミナー司法試験シリーズ

民事訴訟法 (日本評論社)

新実体法説の理論とその位置づけ

ロースクール (立花書房)

上告審における訴訟要件

小室・小山先生還暦記念論文集

『裁判と上訴』(中) (有斐閣)

参加的効力

鈴木・白川編『ケーススタディ民訴法IV』(法学書院)

一九八一年

破産事件は訴訟事件か・破産原因・破産宣

告の効果・破産財団の意義と範囲・別除権・譲渡担

保と別除権など 『基本マスター破産法』(法学書院)

非金銭執行

新堂・竹下編『民事執行法を学ぶ』(有斐閣)

請求異議訴訟の訴訟物

吉川大二郎博士追悼論集

請求権競合論の再検討

法学セミナー増刊・不法行為法 (日本評論社)

第三者異議訴訟の法的性質と訴訟物

岡山大学創立三〇周年記念論文集

『法学と政治学の現代的展開』(有斐閣)

保全処分の第三者に対する効力

『新実務民事訴訟講座』第一四巻 (日本評論社)

一九八三年

違法収集証拠の証拠適格

岡山大学法学会雑誌(三)卷三・四号

執行証書

新堂・竹下編『基本判例からみた民事執行法』(有斐閣)

申立事項と判決事項

三ヶ月・中野・竹下編

『新版・民事訴訟法演習』(有斐閣)

一九八四年

差止請求訴訟の機能 『講座民事訴訟』第一巻 (弘文堂)

一九八五年

宣告と賃貸借

『裁判実務大系(6)』(青林書院)

『不動産法の課題と展望』(上) (日本評論社)

訴訟物

林屋・小島編

『民事訴訟法ゼミナール』(有斐閣)

法解釈における常識と非常識 月刊労委労協四二一號

一九八六年

訴訟物理論からみた民法理論

民商法雑誌創刊五〇周年記念論集II (有斐閣)

民事執行法三〇条、三一条

石川・小島・佐藤編『注解民事執行法』(青林書院)

民事執行法三〇条、三一条

民事執行法三〇条、三一条

岡山大学法学会雑誌四〇巻三・四号

一九九二年

外国裁判承認理論に関する一覧書 法曹時報四四巻五号

一九九三年

民事保全法四三条、四五条、四六条、四九条、五〇条、

本執行への移行、預金債権の仮差押え

松浦馨・三定弘人編『民事保全法』(日本評論社)

一九九四年

一九八八年  
差止請求訴訟の問題点

ジェリリスト・民事訴訟法の争点(新版)(有斐閣)

一九八九年

社会的弁論主義について

染野義信博士古稀記念論文集

『民事訴訟法の現代的構築』(勁草書房)

一九九〇年

相続回復請求権

石田・西原・高木教授還暦記念論文集

非金銭執行―引渡・明渡執行・間接強制

浦野雄幸・他『民事執行・民事保全法』(有斐閣)

一九九五年

木川統一郎博士古稀祝賀論集(上巻)

『民事裁判の充実と促進』(判例タイムズ社)

一九九六年

労働委員会の存在理由とその役割

月刊労委労協四七八号

保全訴訟の訴訟物

中野・原井・鈴木編

『民事保全講座第一巻』(法律文化社)

民事訴訟法第四二〇条、第四二一条、第四二三条、

第四二三条

石川・高橋編『注釈 民事訴訟法(九)』(有斐閣)

一九九八年

国際的訴訟競合論序説

神戸学院法学二八巻一号

労働委員会命令取消訴訟における審判対象と立証責任

一九九〇年

国際裁判管轄論序説

佐々木吉男先生追悼論集

『民事紛争の解決と手続』(信山社)

労働委員会制度改革の基本的課題

月刊労委労協五三三号

二〇〇一年

執行判決訴訟における *révision au fond* の禁止について

岡山大学創立五十周年記念論文集

『世紀転換期の法と政治』(有斐閣)

二〇〇二年

仮処分の抵触・民事保全の裁判と既判力

山崎編『民事保全の基礎知識』(青林書院)

II 判例研究

一九五四年

就業規則中の協議約款と一方的改訂

神戸法学雑誌四巻二号

一九五六年

ユニオンショップ協定の及ぶ範囲

神戸法学雑誌六巻二号

一九五七年

ロックアウト中の賃金支払義務

神戸法学雑誌七巻一号

一九六〇年

訴の取下をなすべき契約の効力

ジエリスト一〇〇号

一九六二年

弁論の全趣旨が具体的に判示されていなくても違法

ではないとされた事例

民商法雑誌四五巻五号

一九六四年

証拠調の一部施行と民訴一三九条

判決主文の遺脱と更生

株主総会決議不存在とその無効確認の訴の適否

民商法雑誌五〇巻四号

民商法雑誌五〇巻五号

附帯控訴は取下後ふたたび申立てうるか

岡山大学法経学会雑誌四五号

執行文付与の異議訴訟の既判力と請求異議訴訟

民商法雑誌五一巻三号

親子関係の存在を前提とする法律関係に関する紛争

処理の手続

岡山大学法経学会雑誌一四巻三号

一九六五年

相手方の陳述した事実に基づいてする訴の変更是請

求の基礎に変更がある場合にも許されるか

本人訴訟と当事者尋問

別冊ジェリスト・民訴法判例百選

岡山大学法経学会雑誌一五巻一号

民商法雑誌五七巻四号

訴取下契約

別冊ジェリスト・民訴法判例百選

占有の訴に対しても本権に基づく反訴を提起すること

の許否

岡山大学法経学会雑誌一五巻二号

一九六六年

口頭弁論終結前に相殺適状にある場合において右弁論

終結後の相殺による債務消滅は請求異議の原因に

なるか

岡山大学法経学会雑誌一五巻四号

前訴確定判決の理由中における判断でもそれが主要な

争点の実質的な審理を経た場合には後訴を拘束する

当事者の通謀による確定判決の取得と請求異議の訴の

許否

岡山大学法経学会雑誌一六巻三号

一九六七年

民法七六八条三項による財産分与額の定め方等

民商法雑誌五六巻二号

確定判決の理由中の判断につき既判力類似の拘束力を

認めた一事例

判例時報四八六号

一九六八年

必要的差戻の規定違反の違法判決と差戻す裁判所

民商法雑誌五七巻四号

一九六九年

仮処分申請の取下と相手方の同意の要否

民訴法三二二条一号にいう「引用」の意義ほか

判例時報八八二号

一九七〇年

遺言者生前の遺言無効確認の訴

別冊杰リスト・保全判例百選

一九七九年

請求権の競合

民法の判例（第三版）（有斐閣）

中川淳編『判例相続法』（有信堂）

一九八〇年

本案の終局判決後に取り下げられた旧訴と当事者及び訴訟物を同じくする新訴の提起が違法でないと

された事例

判例時報九七五号

一九七二年

裁判外の訴取下契約

ジェリスト・昭和四四年度重要判例解説

一九八一年

外国でなされた訴取下契約の準拠法

別冊杰リスト・続民訴法判例百選  
明示した一部請求 別冊杰リスト・続民訴法判例百選

判例タイムズ四三九号  
明権不行使の違法ありとされた事例

民商法雑誌八四卷四号

一九七四年

不法行為に基づく損害賠償請求訴訟で被害者からの具体的加害行為、状況及び結果回避の可能性・予見可能性の主張に対し、右事実関係の一部を認め

一部を争いながら 抽象的には結果の発生について自己の過失を自認するのは裁判上の自白にあたるとされた事例

判例時報七五三号

一九七八年

振込指定契約の効力・選択的併合の場合の訴訟の対象  
ジェリスト・昭和五九年度重要判例解説

一九八六年

一定の地域の代表として環境権に基づき火力発電所の操業の差止め等を請求する訴えを提起した者に原告適格がないとされた事例

一九九七年

保険支払請求の訴えにおいて、保険契約者の任意的訴訟担当を理由とする原告適格が否定された事例

判例時報一二〇一号

支払不能（栗栖赳夫事件）  
別冊ジェリリスト・新倒産判例百選

一九九八年

後遺症による損害額の増大

遺産管理者が選任されている場合と相続人本人が遺産である不動産の不実の登記の更正登記手続を求める訴えの当事者適格の有無

判例時報一五〇〇号

III 書評

一九九五年

複数の原告が人格権、環境権等に基づき、ゴルフ場建設工事の差止めを求める訴えにおける訴訟物の価額の算定方法

判例時報一五一二号

小山昇著「民事訴訟法」  
（新法対応・補正版）

一九六八年

民商法雑誌五九巻二号

一九九〇年

禁治産者の後見人がその就職前にした無権代理人による訴えの提起及び弁護士に対する訴訟委任の行

四宮和夫著「請求権競合論」  
四宮和夫著「請求権競合論」  
法律時報五〇巻八号  
法学セミナー一二巻一〇号

一九八三年  
『不法行為訴訟I』（新・実務民事訴訟講座4）

III 紹介

一九五八年

非訟事件手続の対象——ハーブシャイドの所説について

一九六〇年 岡山大学法経学会雑誌二四号

株主総会決議取消訴訟における訴訟物と既判力

——Arens の見解について

岡山大学法経学会雑誌二四号